

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

校区には、環境にやさしい交通手段である路面電車や、豊かな食をもたらす地産地消の象徴である「三八の市」、社会福祉の活動拠点で人権擁護を実践する施設である「総合福祉センター（あイトピア）」がある。そうした校区の特色を生かして旭小学校では、ESDの活動をすすめて、児童に地域に愛着をもち学び続ける力を育ててきている。

○生活科

「1年 お年寄りとの交流会」

2月に校区内にある福祉施設「あイトピア」に出かけ、校区のお年寄りの方と一緒に、歌を歌ったり手話をしたりしながら交流を行った。

おじいちゃん、おばあちゃんから、歌や手遊びを教えてもらえ、お年寄りと楽しく交流することができた。



「2年 もっと知りたいな町のこと ～あイトピア・もちや」

校区内にある福祉施設「さくらピア」や多くの人に愛される「もちや」に出かけ、働いている人やその人たちの思いにふれた。みんなのことを考えて働いている素敵な人が旭校区にいることを知り、旭校区への愛着をより深めることができた。



○総合的な学習

「3年 三八の市のひみつをさぐる」

三八の市での買い物を通し、店の人がどのように工夫しながら商品を仕入れ売っているか、どんな思いで三八の市に出店しているのかに迫った。

三八の市にかかわる人たちの工夫や思いを学び、一層地域を愛し大切に作る心を育むことができた。



「4年 われら市電探検隊」

市電になじみの深い旭校区。その市電についての歴史やひみつについて、インターネットや書籍を使い調べ学習を行った。調べ学習でわからなかったこと、疑問に思ったことを解決するため、市電の赤岩口車庫へ見学に出かけた。働く人の市電に対する思いにふれ、これからも校区を走る市電を大切にしたいという思いをもつことができた。



○全校活動

「ひなまつり集会」

旭小学校の特色ある行事の一つで、お世話になった地域の方や保護者に、子どもたちの成長を見てもらい、交流を深めている。集会は2部構成で、最大の特徴は第1部の「人間雑披露」。選ばれた14名の子どもたちが「人間雑」となって順々に登場し、集会を盛り上げた。第2部は、日ごろからお世話になっている校区の人たちを招待して、感謝の会を行った。子どもたちは、手作りの感謝状とお礼の手紙を渡し、改めて多くの方にお世話になっていることを確かめることができた。旭小学校の子どもたちは、地域に支えられて、まっすぐに成長している。



「桜ヶ丘公園530活動」

市民の憩いの場となっている桜ヶ丘公園を、旭小学校の児童と地域の人とで協力して清掃し、地域のよさを感じ、地域を大切にしようとする気持ちを、活動を通じて分かち合った。

短い時間であったが、地域の皆さんと協力して落ちていたたくさんの松の葉を集めた。公園がきれいになり、地域への愛着をもつ心を育てることができた。



「子ども110番の家に感謝する活動」

子ども110番の家の方が、子どもたちをあたたかく見守ってくれているおかげで、旭小学校の児童は大きな事故もなく、安心して登下校ができています。毎年、その感謝の心をこめて、鉢花を贈っている。この花は、4年生が中心となって水をやって育て、鉢には感謝のことばを書き込み、全校児童が下校時にそれぞれの通学班に分かれて届けている。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)